

# 53期 SDGsレポート

---

2020.8～2021.7

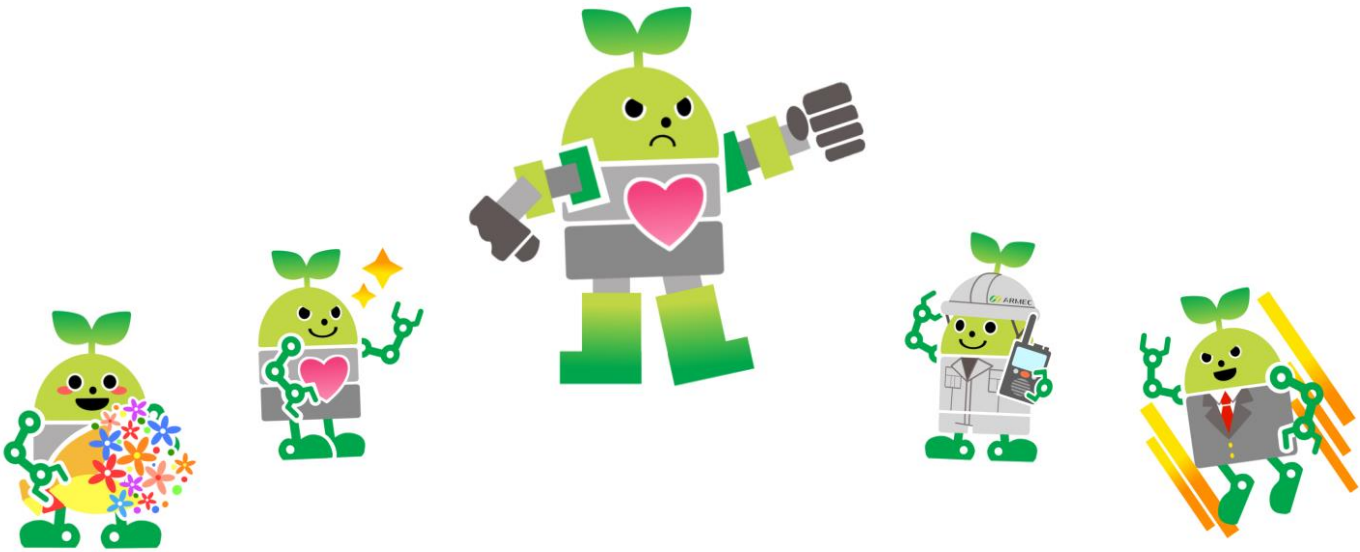
## 経営理念

### 「資源に無限の夢を。」

われわれの役割は、さまざまな資源が本来持つ輝きを、最高の技術と精緻な仕事で引き出し、時にそれ以上の価値を生み出すことである。

1人ひとりが地球の未来を守る「資源循環のプロフェッショナル」として、誇りと自負を持ち、資源に無限の夢を持ち続けていく。

飽くなき探求心と弛まぬ努力を通じて「喜ばれる存在」となり、そのやりがいや楽しさを社員全員の物心両面の充足と幸せにつなげていく。



[54期全社スローガン]

## 自発的協働の魂を燃やせ！

「協働の自発性」を高めた53期は、これまで解決困難とされてきた難題をことごとくクリア、大きな飛躍を遂げることができた。見方を変えれば、これ以上無理と考えていた限界の正体は、自ら勝手に決め込んだ幻に過ぎないと自覚した1年だった。アルメックの底力はこんなものじゃない。一人ひとりがもっと魂を熱くし、お互いの存在・価値を認め、共に響き合えたなら、さらなるビッグステージへと駆け上がることができるはずだ。

## SDGs レポート 第5号発行によせて

第54期に第5号となる、SDGs レポートを発行できました事、心より感謝申し上げます。前期は、「はばたく中小企業300社」「地域未来牽引企業」に選ばれることができました。このようなすばらしい成果を頂き、私自身大きな励みになっております。

目に見える成果は、目に見えない地道な活動の積み重ねの上にあります。13年継続し続けている社員総会と木鶏クラブ、活発な委員会活動、健康経営、人材育成たくさんの学びや行事が、コミュニケーション能力を高め、絆を強くしてきたからだと考えています。

今期スローガン「自発的協働の魂を燃やせ」の通り、前期以上に自燃型人間となり、全社で盛り上げ、今期も元気に突き進みましょう！ご協力よろしくお願い申し上げます。



感謝をこめて  
代表取締役社長 星河秀樹

## 目次

本レポートについて/ 当社の主な取り組みとSDGsの対応表	3	広報活動	14
健康経営	5	設備投資	15
安全衛生	7	資格取得	16
人材育成	9	満足度調査	17
技術開発	11	第53期の振り返り	18
新規取り組み	12	会社概要/編集後記	19
社会貢献	13		

# 本レポートについて

このレポートは1年間の取り組みを振り返ることで、次の1年のより質の高いものとする目的で作成し、同時にステークホルダーに対する「CSRレポート」も兼ねています。

SDGs:持続可能な開発目標は、当社の経営理念と合致するものです。また当社は「経営品質の4本柱」を採り入れて各種取り組みを展開しています。ぜひ様々な視点から本レポートをご覧ください。取り組みの理解度が増すことと思います。

## ○「SDGs」とは？



持続可能な開発目標(SDGs)とは、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成されています。

近年はその注目度が飛躍的に向上し、「SDGsに対応できない企業は存続できない」と言われるようになってきており、高度な取り組みを展開している企業が増加しています。



## ○「経営品質」とは？

米国「マルコムボルドリッジ国家品質賞(MB賞)」の枠組みを研究し、顧客価値経営を評価する日本版の基準として確立されたのが「経営品質」であり、モデルとなるべき組織を表彰する制度として、「日本経営品質賞」が創設されました。

①どの業種・業態にも共通する枠組み(フレームワーク)、②枠組みを用いた見直し(セルフアセスメント)方法、③見直し実施後の評価ガイドライン、の3点が特徴であり、取り組みの基礎となる考え方が「経営品質の4本柱」です。

当社では2015年8月より株式会社MATコンサルティング代表取締役 望月広愛氏を講師としてお招きし、仕組みの勉強と社内への定着を行ってきました。



# 当社の主な取り組みとSDGsの対応表

取り組み	対応アイコン	具体的な内容	備考
1 健康経営		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウォーキング大会等</li> <li>・健康に関する情報発信</li> <li>・メンタルヘルス対策 (ストレスチェック、心の健康づくり計画等)</li> <li>・感染症予防対策(予防接種等)</li> </ul>	
2 安全衛生		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンサルタントによる指導</li> <li>・リスクアセスメント</li> <li>・場内パトロール</li> <li>・KYT活動</li> <li>・安全大会</li> </ul>	
3 人材育成		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒採用活動</li> <li>・内定者、新入社員研修</li> <li>・新入社員フォローアップ</li> <li>・ジョブローテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・13年連続の新卒採用実績</li> </ul>
4 技術開発		<ul style="list-style-type: none"> <li>・トレジャーブース稼働開始</li> <li>・パレット、ボックス製作開始</li> <li>・ギロダスライン製作中</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2018愛知環境賞優秀賞</li> <li>・特許、意匠登録取得実績あり</li> </ul>
5 社会貢献		<ul style="list-style-type: none"> <li>・人的貢献 (祭礼の準備ボランティア)</li> <li>・寄付等</li> <li>・出前授業</li> </ul>	
6 広報活動		<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルメックニュース</li> <li>・スターニュース</li> <li>・ホームページ更新</li> <li>・会社案内更新</li> <li>・アルメックミュージアム</li> </ul>	

アルメックのコア事業である「リサイクル」は、それ自体がSDGs＝持続可能な開発目標にマッチするものです。アルメックではそれにとどまらず、上の表に掲げたような様々な取り組みを通して、SDGsを実践しています。



## コロナ禍の中での活動推進

53期はコロナ禍の影響を大きく受け、感染症予防対策については積極的に対応できたものの、当社が重視する「運動機会創出」や「コミュニケーション促進」について思うような活動ができませんでした。

「健康経営優良法人」の認定も初めて認定を逃すなど、取り組み内容の見直しを迫られる厳しい状況となりましたが、全国的に感染状況が落ち着いた11月に自社開催のウォーキング大会を実施するなど、コロナの状況を見ながら可能な限り取り組みを実施しました。

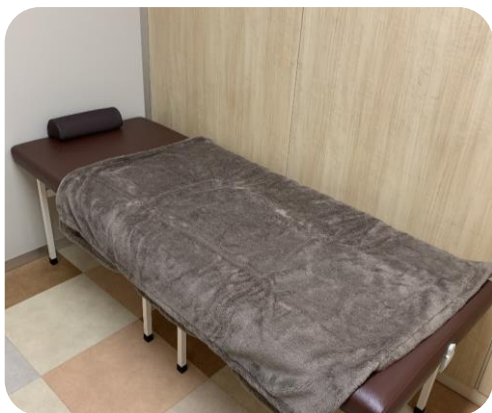
### ○53期に実施した主な取り組み



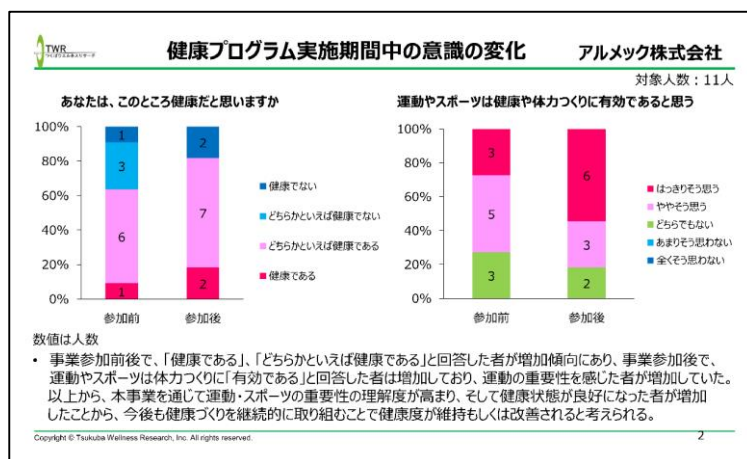
インフルエンザ予防接種



ウォーキング大会



救護室設置



### 大府市健康プログラムへ参加

大府市が主催する「健康プログラム」のイベントに有志11名が参加しました。個人およびチームで日々の歩数を競うもので、イベント前後に「体組成測定会」を開催して効果の確認も行えます。

添付資料の通り「私は健康だ」と感じる社員が増えており、社員の健康増進に繋がれたと感じています。

## 取り組み、実績内容のレベルアップに向けて

### ○「こころの健康づくり」をはじめとしたバランスの良い取り組み体制の構築

これまで当社が力を入れてきたのは①健康に関する教育②運動機会の創出③コミュニケーションの増進でしたが、そのいずれもがコロナの影響を受け、思うように取り組みを展開できませんでした。

一方、委員会等では「ストレスチェック」の重要性を学び、「こころの健康」についてスポットライトが当たっています。当社ではメンタル不調者は幸い出ていませんが、将来的な社員数増加も見据え、「からだの健康」だけではない、よりバランスの取れた取り組み体制の構築が必要です。



2021.3.23 健康経営の実施スケジュール発表会

2022年4月からは中小企業においても「パワハラ対策」が義務化されるなど、「こころの健康」に注力することは時代の要請とも言えます。54期は「こころの健康づくり計画」策定を皮切りに、ストレスチェックの分析を高度化するなどの対応を進めていきます。

### ウォーキング大会＋工場見学会の取り組み

2020年11月29日、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いていると判断し、例年同様にウォーキング大会を実施。大府市「あいち健康の森公園」で、5kmのコースを密にならないよう気を付けながら歩きました。

また、今回は社員のご家族の方もお招きして、工場見学会もあわせて実施するという新たな試みを行いました。アルメックミュージアムのプロジェクションマッピングは小さなお子様に大好評、大人の方にも当社の業務内容や社内の雰囲気を感じて頂くことができ、大成功で終了しました。

コロナ禍は様々な取り組みに制約を与える一方で、新たなアイデアを生み出すきっかけにもなっていると思います。貴重なイベントの機会をより多面的に活用できるよう、工夫を重ねていきたいと思ひます。



## 労働安全衛生委員会の活動強化

健康経営と対になる取り組みとして、今期も安全衛生対策を推進してきました。各種設備備品の導入、安全大会の開催などを継続するとともに、今期は多くの社員が安全関連の資格を取得、社員全員による安全衛生推進を目指す体制づくりを行いました。

### ①労働安全衛生委員会の定期実施

従来の反省点として、労働安全衛生委員会への一般社員の参画が十分でなかったことが挙げられます。今期はその問題を解決するため、幹部会議メンバー以外で委員会を組織し、毎月定例で会議を開催することにしました。

はじめはコンサルタントの先生のご指導に沿って進めていましたが、少しずつ自分たちが何をすべきかが見えるようになり、自主的に活動を行う場面も見られるようになってきました。



### ②職長会議/フォローアップ研修実施

職長が委員会へ様々な提言を行えるスキルを身につけるため、コンサルタントの先生による「職長フォローアップ研修」を実施しました。

職長の有資格者が自ら職場の安全衛生向上を担える体制を整えることで、委員会ともども安全衛生施策の充実に大きく貢献しています。



### ③安全大会開催

9月29日、第4回安全大会を実施しました。今回も実際に社内で発生した事例を用いた注意喚起を行うとともに、新型コロナウイルスに対する会社としての対応方針なども発信し、内容の濃い大会となりました。

ハザードマップ作成など委員会としての取り組みを社員に発信する良い機会にもなりました。





# 安全衛生の取り組み



## 安全衛生対策のための設備・備品導入実績

### 高さ制限の看板導入

社内外で屋根など高所に接触する事故が多発したのを受け、社内各所に高さ制限の表示を取り付ける対策を実施しました。

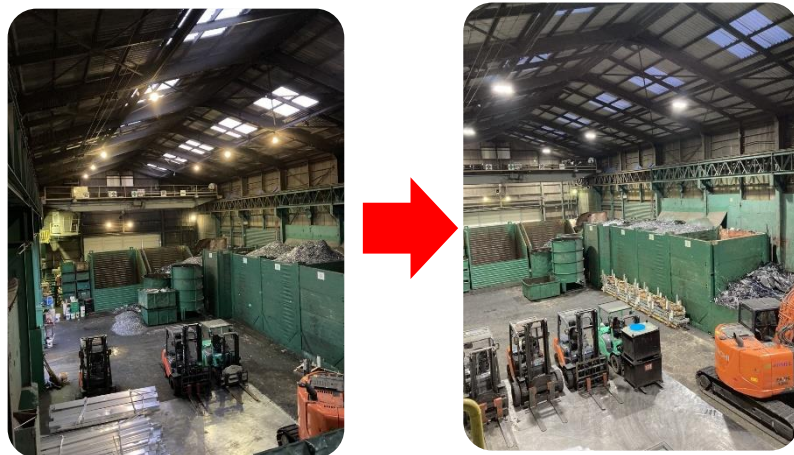
安全大会では動画を取り入れ、高さ制限が守られないとどのような事故が発生するかを学びました。



### 豊明第二工場 LED照明へ交換

従来水銀灯を使用していた豊明第二工場の照明を最新型のLED照明に更新しました。

従来と比べて明るさが大幅に向上し、事故防止に大きな効果が期待できます。



## ・期末時点での有資格者一覧

資格名	人数	資格の意義・役割
第一種衛生管理者	1	労働安全衛生法において定められている、労働条件、労働環境の衛生的改善と疾病の予防処置等を担当し、事業場の衛生全般の管理をする者。
安全衛生推進者	3	常時10人以上50人未満の労働者を使用する事業場で選任が求められる責任者。
安全管理者	16	法定の業種で常時50人以上の労働者を使用する事業場ごとに選任が必要な資格者。
職長	18	事業場や作業所(屋外の事業所)で労働者に対して指揮監督する者。職長資格が必要。
運行管理者	2	自動車運送事業者において、安全体制の確立に中心的役割を果たす者。
安全運転管理者	1	道路交通法に基づき、一定以上の台数の自家用自動車を保有する事業所において、運行計画や運転日誌の作成、安全運転の指導を行う者。



# 大学卒の新卒採用を13年連続で継続！

前期は新型コロナの影響により採用活動に大きな支障が出ました。53期はこの経験を踏まえ、先を見据えた対策を早期に行い、応募者の確保に努めました。また今期から活動をサポートして下さるコンサルタント会社が交代し、会社説明会の代行などこれまで行ってこなかった新たな取り組みにも挑戦しました。

コロナの影響は未だ大きく、合同説明会等では参加者集めに苦心していますが、後述するWEB説明会などを活用し、昨年を超える応募者を確保できました。

## ○今期リクルーターの取り組み



10月 内定者研修



12月 インターンシップEXPO



1月 インターンシップ



2月 大府市就職フェアに出展



3月 マイナビEXPO



3月～ 会社説明会開催

## WEBの活用など、新たな採用スタイル構築

### イベントにおける「オンライン会社説明」

コロナウイルス感染症の影響が収まらない中、昨シーズンに急きょスタートした感のあった「オンラインの活用」が、今シーズンは定着してきた印象です。

大規模な就活イベントではこれまでのブースでの会社説明だけでなく、録画やWEBによる説明を行うためのブースが設けられ、希望する会社が活用できるようになりました。

自社の説明会や面接でもWEBを活用しました。課題は場の雰囲気共有するのが難しいこと、気軽に参加できる反面その後の進捗に繋げていくのが難しいことが挙げられます。



WEB説明用のブース

### ■2022採用の実績

- ・エントリー母集団数、選考数、内定数ともに昨対比を上回る
- ・説明会参加者数が昨年27名→60名 昨対比222%

3月中の会社説明会の回数を増やす、オンラインセミナーの導入などの効果により、非常に順調に活動を展開することができました。

一方で内々定5名に対し受諾は3名にとどまっており(7月末日時点)、引き続き学生の見極めや惹きつけ等に工夫が求められます。

## 中途入社も含む採用・教育体制の改革に向けて

新卒採用活動は、2023年入社で15期生となります。毎年新たなチャレンジをしていますが、中途採用を含めて以下のような課題の解決が求められています。管理部とリクルーターの協業によって新たな展開を目指します。

テーマ	内容
インターンシップの強化	インターンシップ参加は学生にとってもはや必須事項であり、アルメックとしても受け入れ態勢を強化していく。
動画やSNSを用いた自社PR	採用ツールの主軸は画像から動画へ。YoutubeやFacebook等を活用した企業PRの推進。
新卒社員のフォローアップ体制	リクルーター、役職者、部門長など、一人に対するきめ細やかなフォロー体制の構築
中途社員の入社時教育	即戦力として入社当日から現場に入るのではなく、新卒社員並みの教育を実施する体制
採用基準の明確化	特に中途採用について、応募者の見極め基準を明確化。

## 「トレジャーブース」構築・運用開始

### ①トレジャーブース稼働開始

東ヤードに構築中だった「トレジャーブース」が完成、稼働開始しました。

・FE(FINDER-ECS)ライン

ファインダーは電磁センサーを用いて金属をエアで飛ばし、金属とそれ以外の物(ダスト)に分けることができます。

ECSは磁石を用いて①磁力に引っ張られる鉄など②磁場によって飛ぶアルミや銅など③それ以外の、磁力により飛ばない物(SUS304やゴム、プラ)などに選別します。

既存の非鉄ピックアップライン、クロスフローなど各設備と適切な役割分担を実施することで、資源を最大限リサイクルできる体制を全社で整えていきます。



### ②パレット、ボックス製作開始

エンジニアチームでは、溶接等の技術力を活かしてパレットや鉄製ボックスの製作を開始しました。写真の大型タイプだけでなく、キャスター付きのものなども製作、お客様先にお伺いしてフィードバックを受けるなど、品質にこだわっています。



### 「ギロダスライン」製作中！

53期は「ギロダスライン」製作を推進してきました。他の作業との兼ね合いから断続的に行ってききましたが、期末を迎えるにあたり形がかなりできあがってきました。

ギロダスラインではダストに含まれるアルミ、ステンレス、コンクリガラをトロンメルや手選別にて抽出する計画です。これにより埋め立て処分に回す物量が更に削減され、資源循環に貢献できます。



# 「はばたく中小企業」「地域未来牽引企業」として



# 地域未来牽引企業

## ①「はばたく中小企業300社」

### ・「はばたく中小企業300社」とは？

ITサービス導入や経営資源の有効活用等による生産性向上、積極的な海外展開やインバウンド需要の取込み、多様な人材活用や円滑な事業承継など、様々な分野で活躍している中小企業・小規模事業者を「はばたく中小企業・小規模事業者300社」として経済産業省中小企業庁が選定。

2014年に「がんばる中小企業」としてスタートし、2016年より現名称に改称され、「がんばる商店街30選」と共に毎年300社が選定されています。

## ②「地域未来牽引企業」

### ・「地域未来牽引企業」とは？

地域内外の取引実態や雇用・売上高を勘案し、地域経済への影響力が大きく、成長性が見込まれるとともに、地域経済のバリューチェーンの中心的な担い手、および担い手候補である企業を「地域未来牽引企業」として経済産業省が選定するものです。

これまでに全国3,687社が選定され、当社は令和2年度の追加選定（計1,060社）に含まれます。



当社は2020年、「はばたく中小企業300社」「地域未来牽引企業」をダブルで認定して頂きました。「社員全員の物心両面の充足と幸せ」「お客様に喜ばれる存在」の実現に向けて、今後も様々な取り組みを積極的に推進していきます。

## 「経営デザイン認証」にチャレンジします！

2021年4月より「経営デザイン認証」のチャレンジをスタートしました。これは、「ありがたい姿」という将来から現在を見ることにより「今、何をなすべきか」とらえて実践することを特長とする経営の仕組みです。今ある強みや魅力を活かして将来のありがたい姿をまず描いていこうというポジティブアプローチを基本に、自社の生い立ちの振り返りからスタートし、将来のイメージを明らかにしていきます。

経営品質をご指導下さった株式会社MATコンサルティングの望月広愛先生にご指導頂きながら申請書類の作成を進めました。

## 社内木鶏の取り組みが「致知」に掲載されました！





## コロナ禍による活動停止、新たな貢献方法の模索

### お祭りが軒並み中止、ボランティアを実施できず

2018年、19年と続けてきた、近崎自治会様主催の夏祭りの準備について、自治会様からお祭りの中止のご連絡を頂き、2020年は実施することができませんでした。

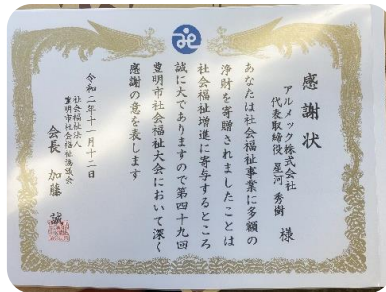
お祭り以外の行事も軒並み中止となっており、これまで力を入れて取り組んできた、地域の皆様とのパイプ作りが停滞してしまう事態となりました。

### 寄付・寄贈活動の継続

人的な貢献は自粛せざるを得ませんでしたが、寄付・寄贈活動は今期も継続的に実施しました。11月には第49回豊明市社会福祉大会において感謝状を授与されるなど、地域の皆様に喜ばれる活動が展開できたと考えています。



豊明市社会福祉大会



豊明市社会福祉協議会様に  
サンタブーツを寄贈

### 今後の方向性と、新たな取り組み

当社として地域社会に貢献したいという想いに変わりはなく、コロナ禍の中でも実践できる社会貢献のあり方を模索していきます。

2021年1月からは「ペットボトルキャップの回収」を始めました。キャップをポリオワクチンに交換する取り組みで、キャップを860個集めると1人の命を救えます。事前に洗浄済みのキャップのみ回収するルールとしており、貯まり次第豊明市社会福祉協議会様へお届けすることにしました。

2021年7月までの約半年で2回の寄贈ができました。予想に反して順調に集まっており、今後はキャップ回収以外にも「集めるだけで社会貢献」になる物がないか検討していくことになりました。



## 広報ツールのパワーアップ

### ①ホームページ、「プレスリリース」の定期更新

2020年8月より、月1回を目標として「プレスリリース」の定期更新に取り組んでいます。これまでは木鶏クラブの実施報告等、限られた情報しか更新できていませんでしたので、ホームページの活発な更新を目的として取り組んでいるものです。

今後は、継続更新はもちろん、内容の高度化やアクセス分析などを通し、お客様が必要とされている情報がきちんとお届けできる体制づくりを進め、一方で掲載内容のプライバシー保護状況等を厳しくチェックして参ります。

2021/01/29	プレスリリース	社内報「スターニュース」を発行しました
2021/01/19	社内木鶏クラブ	第135回木鶏クラブ
2020/12/28	プレスリリース	ワンタプーツを寄付しました
2020/12/15	社内木鶏クラブ	第134回木鶏クラブ
2020/11/25	社内木鶏クラブ	第133回木鶏クラブ
2020/11/20	プレスリリース	インフルエンザの予防接種を実施しました
2020/10/29	プレスリリース	改善提案発表会を開催しました
2020/10/28	社内木鶏クラブ	第132回社内木鶏クラブ
2020/10/13	プレスリリース	「地域企業案内」に選定されました
2020/10/05	プレスリリース	第4回安全大会実施
2020/09/24	社内木鶏クラブ	第131回木鶏クラブ
2020/07/22	社内木鶏クラブ	第129回社内木鶏クラブ
2020/06/24	社内木鶏クラブ	第128回社内木鶏クラブ
2020/04/01	プレスリリース	「バクテクター-03」を導入しました！
2020/03/31	プレスリリース	コロナウイルス対策に関するお願い

### ②「採用ページ」完成

構想から約1年がかりで「採用ページ」が完成しました。

これまでの当社ホームページにはリクルートページがりましたが、より詳しく業務内容や会社の雰囲気をお伝えできるよう、専用のページを作成しました。

アルメックが目指す企業文化「ワクワク・ニコニコ・ドンドン」をメインテーマとし、社内の前向きで明るい雰囲気を取職者に伝わるようコンテンツ内容の検討を進めました。

また、トラックドライバー専用の求人サイトに初めて掲載、それに伴って企業紹介動画を新たに撮影するなど、これまでにない取り組みを行いました。



### ③営業ツール作成の取り組み

管理部の「アクションプラン」の一環として「アルメックの取り組み紹介」の冊子づくりを進めました。

管理部の若手がアルメックの取り組みの中で特にお客様へご紹介したいと考える5つのテーマを絞り込み、取り組み内容と今後の展望をまとめたものです。

お客様へお渡しできるツールにすべく、営業部にも添削を依頼して内容を詰めてきました。また、新入社員研修のテキストとしても使用することが決まりました。



## 設備投資

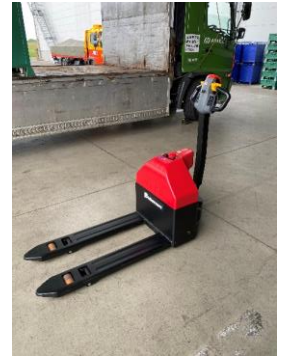
▼放射線検出装置(入替)  
2020年9月13日導入



▼3号車(フックロール車)  
2020年9月16日導入



▼電動ハンドリフト  
2020年9月23日導入



▼デジタル小秤  
2020年10月14日導入



▼回転リーチリフト  
2020年10月16日導入



▼30m<sup>3</sup>コンテナ  
2021年1月26日導入



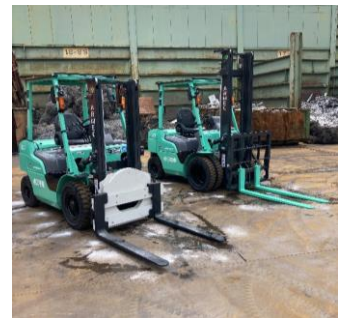
▼クレーンスケール  
2021年2月4日導入



▼SH330 5号機  
2021年4月9日導入



▼西ヤード回転、中央ヤードヒンジリフト  
2021年6月22日導入



▼SH200 2号機  
2021年6月28日導入



▼20tリフトタイヤ交換  
2021年7月5日導入



▼新1号車・11号車  
2021年7月21日導入





## ・資格取得/講習受講状況

資格/講習名	取得人数
高所作業者	2名
玉掛け	1名
床上操作式クレーン	2名
車両系建設機械(掘削)	2名
冷媒回収技術者	1名
2級建設機械施工管理技術士補(2次試験中)	2名
エックス線作業主任者	1名

## ・従業員数の推移

	期首	入社	退社	期末
正社員	48	7	3	52
嘱託等	11	0	2	9
合計	59	7	5	61
(大府)	44	6	5	45
(豊明)	15	1	0	16

※入退社には定年退職による再雇用者を含む

## ・新入社員(期末時点在籍者のみ)

[新卒]:3名

・2021年4月1日入社  
 管理部2名 豊明工場1名

[中途]:2名

・2021年9月14日入社 大府工場  
 ・2021年4月12日入社 豊明工場

## [設備投資]

今期も重機やトラック、フォークリフト等の老朽取替を積極的に推進しました。20tリフトの再塗装やタイヤ交換、放射線検出装置取替など傷んだ設備にも手を入れています。

また、豊明工場の照明設備更新や溶断場用厚板購入など、作業環境の改善に着目した投資や、エンジニアが使用するためのボール盤・フライス盤の購入なども実施されました。

## [資格取得]

今期はコロナ禍で資格取得スケジュールにも影響が出ましたが、可能な限り必要な資格の取得に努めました。また、「2級建設機械施工管理技術士」の資格は、将来的に工事管理者となれる国家資格であり、合格者が出れば当社業務の拡大に繋がるものです。

## [従業員数推移]

期首と比べ2名の純増となりました。

今期は新卒が3名入社、また当社では初となる物流希望の女性が入社されるなど革新的な動きがあった一方、中途社員の定着率が振るいませんでした。教育体制の見直しなどで定着率の改善を目指します。

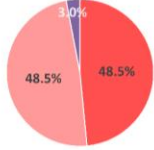
## 顧客/社員満足度調査結果

### 第6回お客様満足度調査 調査結果グラフ

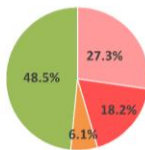


2021.3月実施

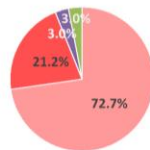
元気の良い挨拶ができています。



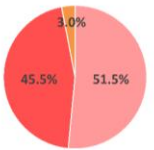
荷降ろしスキル



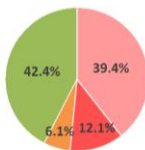
コンテンツの内容・情報量



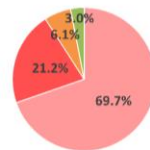
正しい言葉遣いができている。



場内の安全性



ページデザイン(見やすさ)

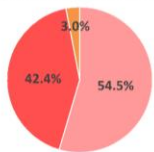


第6回顧客満足度調査を2021年3月に実施しました。回答率は63.4%、総合満足度は93.9%と高い数値を示しました。

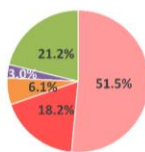
6回目となる今回の調査ではES・CS委員会のメンバー全員で設問内容を大幅に見直し、わかりやすい調査票づくりを目指しました。今回の結果を基に、次回は再度設問に変更を加え、より正確性を高める予定です。

社員満足度も今回で6回目を迎えました。総合満足度は86.7%と若干下がりましたが、それでも十分高い数字と言えます。

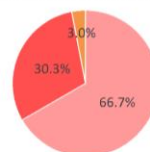
身だしなみが整っている。



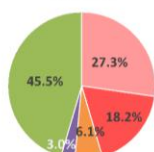
引取り依頼に対するレスポンス



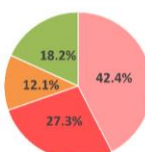
当社経営理念の内容(共感度)



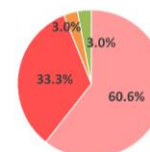
待ち時間



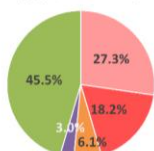
積込終了後の清掃状況



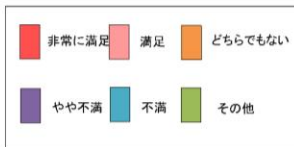
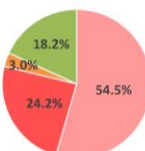
総合満足度



誘導のスムーズさ



引き取り作業時の受け答え



・第6回顧客満足度調査  
2021年3月実施  
回答数33件/52件(回答率63.4%)

[質問項目別で最も多かった数]  
非常に満足・・・1件 満足・・・10件

### わたしは、総合的に考えると当社の従業員として満足している

	人数			比率			
	今回	前回	前々回	今回	今回	前回	
満足度	5非常にそう思う	21	20	14	46.7%	50.0%	35.0%
	4そう思う	18	16	23	40.0%	40.0%	57.5%
	3どちらともいえない	5	2	1	11.1%	5.0%	2.5%
	2そう思わない	0	0	2	0.0%	0.0%	5.0%
	1全くそう思わない	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
未記入	1	2	0	2.2%	5.0%	0.0%	
総計	45	40	40	100.0%	100.0%	100.0%	
満足度	39	36	37	86.7%	90.0%	92.5%	
不満足度	0	0	2	0.0%	0.0%	5.0%	

月	日	項目
8	29	第12回社員総会
9	16	消防訓練
	29	安全大会
10	1	内定式・内定者研修
	27	改善提案発表会
11	12	豊明市社会福祉大会にて表彰
	13	インフルエンザ予防接種
	16	大府西棟に救護室設置
	29	ウォーキング大会&会社見学会
12	10	大府市長を表敬訪問
	13	インターシップEXPO
	22	ISO14001 更新審査
1	6	安全祈願祭
2	22	半期実績報告会
3	1	マイナビEXPO
4	1	入社式、懇親会
5	1	致知6月号に当社が掲載
6	4	新入社員歓迎健康経営BBQ大会
7	2	大府工場社員駐車場前に自販機設置
	9	トレジャーブース作業環境測定



## 第54期に向けて

### ①企業規模拡大(売上高・社員数増加)

・第54期はこれまで以上に高い目標値を設定し、チャレンジしていく1年となります。売上高や社員数に代表される企業規模の拡大に向け、各部署とも大きな変革が求められます。

### ②「協働の自発性」の更なる強化

・第53期は「協働の自発性を高めてSSK」をスローガンに取り組んできました。54期も引き続き「協働の自発性」を高めることが①の企業規模拡大に繋がるものと考えています。  
 ・社員一人ひとりが会社方針を詳細に理解し、自らの役割を見出して自発的に考動することが求められます。

# 会社概要

会社名	アルメック株式会社
本社所在地	愛知県豊明市前後町三ツ谷1361番地
TEL	(0562) 97-7215
FAX	(0562) 97-8181
代表者	代表取締役社長 星河 秀樹
資本金	1,000万円
従業員	61名(2021年7月末日現在)
創業	1959年(昭和34年)

## ■大府工場

所在地	愛知県大府市北崎町遠山143番地
TEL	(0562) 44-1159
FAX	(0562) 44-3789
事業内容	・製鉄原料加工及び販売 ・一般建設業(とび、土工) ・産業廃棄物処分業 ・産業廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物再生事業



## ～編集後記～



第53期も「SDGsレポート」通算第5号を完成させることができました。

第4号の編集後記に記した通り、コロナの影響は第2波3波と続き、健康経営など一部の取り組みは大きな影響を受け、取り組み体制の見直しを迫られる結果となりました。

一方取扱量や相場は通期で回復傾向を示し、早期に回復軌道に乗れた点は幸いであったと思います。結果、設備投資や技術開発については積極的に行われました。

第54期は会社全体でこれまでになく大きな目標を掲げての1年となります。組織体制や業務の進め方など、あらゆる点でこれまでとは異なる対応が求められる場面が増えるのではないかと予測しています。53期の勢いそのままにスタートダッシュを切れると良いと思います。

管理部 野々口